

基礎看護学

12単位 300時間

目的：看護の本質を理解し、看護に必要な基礎的知識・技術・態度を身につけ、科学的根拠に基づき実践できる能力を養う。

科目名		単位数	時間数	科目目標	
看護学概論		1	30	看護の実践に必要な基礎的理論、看護の主要概念、看護倫理、看護の役割及び看護の歴史を理解する。	
基礎看護学	看護方法論	看護方法論Ⅰ (安全・安楽)	1	15	看護技術について考え、看護における安全と安楽の意義を理解し、その援助方法を習得する。
		看護方法論Ⅱ (コミュニケーション)	1	15	看護実践に必要な援助的コミュニケーション技術を習得する。
		看護方法論Ⅲ (生活環境の調整、活動、 休息・睡眠)	1	30	生活環境や活動、休息・睡眠が健康に与える影響を理解し、その援助方法を習得する。
		看護方法論Ⅳ (衣生活・清潔)	1	30	衣生活と清潔が健康に与える影響を理解し、その援助方法を習得する。
		看護方法論Ⅴ (フィジカルイグザミネーション)	1	30	対象の健康状態を系統的に捉えることを理解し、身体的な情報収集をするための観察技術を習得する。
		看護方法論Ⅵ (フィジカルアセスメント)	1	15	身体症状がある対象に対してフィジカルイグザミネーションを活用しアセスメントできる。
		看護方法論Ⅶ (食生活・排泄)	1	30	食生活と排泄が健康に与える影響を理解し、その援助方法を習得する。
		看護方法論Ⅷ (看護過程、学習支援技術)	1	30	看護過程の概念を理解し、その展開方法を学ぶ。また看護における学習支援の必要性を理解し、対象に合わせた学習支援方法を習得する。
		看護方法論Ⅸ (感染予防、診察・検査時の看護)	1	30	感染予防と検査・処置に関する看護の役割を理解し、その援助方法を習得する。
		看護方法論Ⅹ (薬物療法時の看護)	1	30	薬物療法に伴う看護の役割と心身に与える影響を理解し、その援助方法を習得する。
臨床看護方法論		1	15	I 臨床看護の概念が理解できる。 II 対象の症状・徴候から問題解決するための臨床判断の基礎的能力を身につける。	